

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
第6回丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会
- 2 開催日時
令和3年9月14日(火)10時00分から12時00分まで
- 3 開催場所
丹波篠山市立丹波篠山市民センター 2階 催事場1.2
- 4 会議に出席した者の氏名
 - (1) 委 員 (敬称略・順不同)
会長 太田鈴子、副会長 五十山田潤、濱口清子、長澤みさ子、井上友香、土性里花、大對礼子、泉より子、仁木秀樹、宮本英美子、飯田聡美
 - (2) 執行機関 事務局 市民生活部長 中筋有香、
人権推進課 麻田英史、奥山直美、松浪友子
- 5 傍聴人の数
2人
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
公開
- 7 非公開の理由
該当なし
- 8 会議資料の名称
 - ・第6回 丹波篠山市丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会 次第
 - ・丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会委員等名簿【資料1】
 - ・フィフティプラン 第2次男女共同参画プランの総括について【資料2】
 - ・第3次丹波篠山市男女共同参画プラン(案)について【資料3】
 - ・プランの体系表(案)【資料4】

9 審議の概要

(1) 開会あいさつ (10:00)

(副会長)

おはようございます。今日は最終の会ということで、開会については私からさせていただきます。実りの秋を迎え、忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

3週間ほど前に、ネットのニュースで出ていた6月に発表された男女共同参画白書のデータについて、令和2年のちょうどコロナ禍でのデータで、自殺者の数がこの10年間減ってきているが、前年比で男性は23人減少し、女性の数が935人増加しており、心を痛めています。専業主婦や一人でなく家庭で暮らされている方の増加が著しいと記されていました。DV相談件数が前年の1.6倍増えているとのことで、私たちが携わっている男女共同参画プランは、令和4年度から令和13年度までのものですが、DV相談や深刻に悩まれている相談が必要な方のためにも計画的に早く進めて行かないといけないと、強く感じています。限られた時間の中で忌憚のない意見を聞かせていただけたらと思います。このあとの協議よろしくをお願いします。

(部長)

おはようございます。お忙しい中、ご出席くださりまして、ありがとうございます。

緊急事態宣言が9/30まで延長された中、新規感染者は減っていますが、自宅療養者は増えている中で、一刻も早い終息を願っています。

昨年の7月から1年以上の長きにわたり審議をいただき、策定を進めていただきありがとうございます。本日の会議で最終の議論をまとめさせていただきます。丹波篠山市のために議論いただきありがとうございました。

本プランの基本理念をしっかりと押さえ、進捗状況を把握しながら、進めて行きたいと思っています。引き続き、ご支援よろしくをお願いします。

(会長)

- (1) 第2次男女共同参画プラン総括について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) ー資料に基づき、説明ー

- (1) 第2次男女共同参画プラン総括について

(会長)

委員の皆さま、ご意見やご質問をお願いします。

(委員)

第2次男女共同参画の誰もが暮らしやすいというところは浸透してきていると感じる。〇〇に住んでおり、地域で防災訓練があったが、自治会でそのような学習ができることはうれしい。長寿福祉課の事業で、買い物支援をしていただけるようになり、誰もが暮らしやすくなっていると感じる。

また、活動拠点となる男女共同参画センターができるといいなと感じる。

(会長)

男女共同参画の意識がまだ浸透していないという市民意識調査の結果を見て、独立した男女共同参画センターを設置しなければと皆さんの心に火がついたように思います。ほかにはありませんか。

(委員)

第2次プランの総括の6ページは、市民意識調査の男女の地位に関する平等感についての結果が追加されて、分かりやすくなったと思います。

総括の22ページの委員の意見のところで、「男女共同参画センターは委託することがベスト」となっているが、委託すると良くなったり、悪くなることもあり、直営の方が良かったということもある。「男女共同参画に実績のある精通されたところに委託する」と発言された方の本人の了承を得て、入れていただきたい。

(委員)

了承しました。委託先はしっかりとしたところを選んでいただきたい。

(事務局)

追加します。

(会長)

ほかにありますか。

(委員)

第3次プランは大事で地域に根差していかないといけないと思う。同じことの繰り返しではいけない。以前から言っているが、意識付けをしていかないといけない。プランは配っただけでなく、意識が変わっていくように仕向けて行かないといけない。

目に見えて変わってきているところもあるが、変わっていないと感じるところがある。体制組織の強化の充実が一番大事だ。総括を見るとできていないことが多い。

質問だが、プランの意見のところで、22ページの「体系化すると・・・」のところだが、行政が支える図式になるのか。

また、熱いストーリーが欲しいというところで、市民が一体となって進めていくというところは納得がいかない。

(委員)

□□委員が気にされている部分だが、行政が支える図式とは金銭的に行政がサポートするという部分もあると思う。

あと、プランは指標として、必要なものだと思う。迷ったときに、このプランに沿って、男女共同参画を運営してくれる団体が教科書のようなものと考えていただきと思う。

(会長)

誰が言われた意見かわかればいいのですが、この委員の意思がわかるのでは。

(事務局)

市民が一体となってというところは△△委員が発言されたのですが、△△委員の思いをお願いします。

(委員)

第2次プランを拝見したときにこのプランは行政主導型だと感じた。意識啓発に係るものは、行政が指導しても市民がついてこない。主体は市民であると思う。親子関係と一緒に。学校に行き、少しずつ成長していく。それと一緒に、市民一人一人が変わらないといけない。行政が主導していくのでは馴染まないし、特に若い方には馴染まない。第2次プランは主体がわかりにくかった。市民一人一人がという自覚を持ってもらって主導していかないといけない。下を支えるのは行政だと考える。

(委員)

市民一人一人が意識を変えて行かないといけない。どういう風に市民に意識を変えていくよう提供していくのかは行政の担当だ。しくみづくり、体制づくりを議論して、いかないといけない。

意識を高めていく、無意識の意識を変革することは難しいので、そこは行政から変えていかないといけないと思う。

(会長)

第3次男女共同参画プラン（最終案）について

(事務局)

資料に沿って、説明

(会長)

訂正なり、ご意見はありますか。

(委員)

気になったのが、策定プランの位置づけの(5)のSDGsは、このままでは、市民の皆さんが見られたときには分かりにくいのではないかと。SDGsの説明を入れてほしい。国連サミットで採択された世界共通の目標であり、「だれひとり残さない社会の実現」を入れることによって、そのことを意識づけしていただけるのではないかと。丹波篠山市でも待機児童があつてはいけない、DVで悩む人が声をあげられないのはいけない。そうすれば、国際的なことだと理解されるのではないかと。

(会長)

皆さん、どう思われますか。

(委員)

賛成

(会長)

それでは、入れていただけますか。

文言は、プランのスペース的なものもあるが、市民の方は理解して伝わるようにただけるか、難しい言葉を使うと最後までプランを見ていただけるかどうか不安なので、わかりやすい表現にしてほしい。

(委員)

10ページの付け加えられたところだが、3「次代を担う若年層への啓発の充実」だが、2番との違いが判らない。表現がわかりづらいところが多い。ぱっと見てわかりやすい表現にしてほしい。

(会長)

読む人にとって、わかりやすい表現や書き方にしていただけると嬉しい。

(委員)

実効性のあるプランになったと力強く感じた。市民と一緒に動こうとしている所やセンターの施設の設置にしても、みんなが同じ方向を向いていて喜んでいる。

(会長)

何かほかにありますか。

(委員)

2ページで、プランはこれから独り歩きをしていくものだと思う。総括はこれから行政の方で読んでいくものだ。

国・県の動きは参考程度でいいのではないかと思う。丹波篠山市の動向はどうかという内容が欲しいと思う。国・県・丹波篠山市の動向を入れるとわかりやすい。

5ページで、男女の平等感は、総括には丁寧に入れてあるとおおりプランにも入れてほしい。

若い人達は意識が変わってきているが、年配の方は変わってきていないという部分は必要だと考える。

あと、県が「県立女性センター」から、平成24年に「男女共同参画センター」と名称を改称していることを入れていただきたい。

前回と比較して読みやすくなったと感じている。

(委員)

平成15年男女共同参画センターがあったのに、3年ほどで立ち消えてしまった。そのことも入れていただきたい。

(会長)

ほかにありますか。

(会長)

次に、第3次プランの体系表(案)について、説明をお願いします。

(事務局)

事務局より、変更点を資料により説明

(会長)

意見ありますか。

(委員)

プラン体系表とのずれが出ているように思う。17ページの「29子供への教育」とA3の資料の「29子供への教育の充実」がずれてきているので直してほしい。

(委員)

プランの体系表で、男女共同参画センターのことだが、成果指標令和5年度設置とあるが、どういうことか。

(事務局)

令和5年度を目標に設置を考えています。

(委員)

ある程度の施策が見える化しているが、今、人権推進課の中でどう動いているか見えない。住民に対して見える化してほしい。この人権推進課の人数ではこれだけの事業をすることはできないと思う。意識を向上させていくには、そのところの充実をお願いしたい。

(会長)

事務局にはこの思いが伝わるようしていただきたい。

(会長)

ほかにはありませんか。

愛称についてはどうでしょうか。何か考えておられる方がいらっしゃいますか。

(委員)

私は「イーブン」がいいかと思う。

(委員)

私も愛称は必要だと思う。

もし、定着しているのなら、「フィフティ」、「イーブン」については県の男女共同参画センターの名前に使われているので、違うものがいいと思う。

(委員)

スタートの年を入れてはどうかと思う。男女共同参画プランの後に2022と入れてはどうか。

(委員)

男女共同参画がまだ市民に馴染んでいないのに、愛称は必要だろうか。

(委員)

男女共同参画センターが出来上がった時に、後先になるかもしれないが、名付けてはどうか。

(会長)

男女共同参画の名前が定着していないため、このまま「男女共同参画プラン」としますか。定着してこそ、愛称だと思う。

(会長)

「フィフティプラン」をやめるということになるがどうか。愛称をなくすということは悲しいが。

(委員)

「フィフティだより」の名称は大丈夫か。

(事務局)

情報紙の名称は継続して使ってもいいと思います。

(委員)

愛称に逃げていくよりも、一目でわかる名称でいいと思う。

(会長)

今回は愛称なしでこのまま「第3次男女共同参画プラン」を進めたいと思います。事務局、その他の説明をお願いします。

(事務局)

今後の流れですが、9/21午後から市長への答申、9/30議会へ報告、10月パブリックコメント実施、令和4年2月から3月に印刷・配布の予定です。

(会長)

発言の無かった方、一言お願いします。

(委員)

今回参加させていただいて、市民のアンケートをみて、男女に格差があることがわかった。教育の現場が大事だと感じた。住民学習から、変えていかないといけないと感じた。これから、変わっていけばいいなと思った。

(委員)

恥ずかしながら、この委員会に参加して、男女共同参画が何かということから学んだ。第3次プランは男女共同参画という言葉在前面に出していけばいいと思う。

(委員)

この会は女性委員の割合が多く、男性の意見が少ないので、女性委員の意見が多いと感じる。基本は丹波篠山市は一人一人がいきいきと生きていけることが大切だと感じている。

(委員)

勉強させていただいた。

私は介護職だが、現実的には介護は女性が主にされることが多いが、女性は何らかの理由で介護を放棄された場合、みんなが若いときから、自分にも介護が直面することもあると考えてほしい。また、ヤングケアラーの現場にも直面する。人権的にも、男女共同参画の意識が浸透していけば変わっていくのではないかと思う。

(会長)

長期間にわたり、皆さんの熱い思いを出していただいて、適切なアドバイスをいただきながら、第3次プラン(案)をつくることができました。いい協議ができました。

□□委員も言われましたように、男女共同参画を進めて行くなら、男女半々の人数で委員会を構成するのがいいと思います。皆さんに感謝します。今後も男女共同参画意識が浸透していくように、協力していきたいと思います。コロナも心配ですし、皆さんも気を付けてください。これで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。長時間お疲れ様でした。